

① アメ色からこげ茶色の体

② 腹柄節は2個

③ 胸の後ろの方に短いトゲ

④ 上から見たハート型の腹

1mm

① ② ③ ④

お腹は上から見たハート型

ヤマアリ亜科

ハリスリアリ

Crematogaster matsuurai

体長：2～4 mm

草原から林で見られ、枯れ枝に巣を作る。そのため樹の幹でよく見られる。サイエンスパークのアベツキの幹を歩いているかも。

① 腹はこげ茶色、他はアメ色

② 腹柄節は2個

③ 頭、胸はメロウ模様

④ 胸の後ろの方に長いトゲ

1mm

① ② ③ ④

頭・腹はまん丸い

フタフシアリ亜科

アミアリ

Pristomyrmex punctatus

体長：2.5 mm

草原から林で見られ、石の下や倒木に巣を作るが一時的で、定住しない。科学館入口の植え込みでアブラムシから蜜をいただいているかも。

ヤマアリ亜科

トビロケアリ

Lasius japonicus

体長：2.5～3.5 mm

草地や林で見られ、よくアブラムシから蜜をいただく。遊具前のケヤキの幹や根元にいるかも。

1mm

① ② ③

茶色でツヤけし

① ツヤのないこげ茶色の体

② 腹柄節は1個

③ 腹柄節を横から見ると日本刀のような形

フタフシアリ亜科

トビロシワアリ

Tetramorium tsushimae

体長：2.5 mm

草地や公園など開けた場所の地中、石の下、草の根元などに巣を作る。サイエンスパークの科学館への道の上を歩いているかも。

1mm

① ② ③ ④

四角っぽい頭
シワだらけな頭・胸

① こげ茶色の体

② 腹柄節は2個

③ 頭、胸に細かいシワ

④ 胸の後ろの方に短いトゲ

① ツヤのない灰色の体

② 腹柄節は1個

③ 胸の前半が後半よりも盛り上がる

1mm

① ② ③

一番見つかると大きくて灰色のアリ

ヤマアリ亜科

クロヤアリ

Formica japonica

体長：4.5～6 mm

草地や公園など開けた場所の地中、石の下、草の根元などに巣を作る。隠れ種が多いことが知られ、複数種に分かれる可能性がある。

① 頭・腹はこげ茶色、他はアメ色

② 腹柄節は2個

③ 胸の後ろの方に短いトゲ

④ 腹柄節は後ろの方が大きい

1mm

① ② ③ ④

働きアリはスリッパを履いている

フタフシアリ亜科

オオスアリ

Pheidole nodus

体長：3.5 mm (兵アリ), 3 mm (働きアリ)

兵アリ、働きアリの2型がある。草原や林で見られ、石の下や朽ち木に巣を作る。サイエンスパークの科学館への道の上を歩いているかも。

ヤマアリ亜科

ウメマツオオアリ

Camponotus vitosus

体長：4～6 mm

樹木の枯れ枝、立ち枯れした枝に巣を作る。自然観察園の枯れがちな樹の幹を歩いているかも。似た種にイトウオオアリがいる。

1mm

① ② ③ ④

幹を歩く
ツヤがあるアリ

① 黒～こげ茶色の体

② 腹柄節は1個

③ 胸の後半がへこむ

④ 腹柄節は分厚い

※イトウオオアリは薄い

浜松科学館
Hamamatsu Science Museum

腹柄節（青色の部分）
胸と腹をつなぐ節で
アリ科には1個か2個ある

2026年9月作成
参考文献
アリハンドブック増補改訂版（文一総合出版）
文・写真
小粥隆弘（浜松科学館）
採集・標本作成
浜松科学館ボランティア
監修
岸本年郎（ふじのくに地球環境史ミュージウム）

おそと
DE
みらいーら

アリ編

浜松科学館敷地内で観察できる
7種のアリ科
※正確な種同定にはより詳しい観察が必要です